

令和5年第4回区議会定例会 区長挨拶要旨

令和5年第4回区議会定例会の開会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

この間、区政は、区議会並びに区民の皆様との連携・協働により、着実に進捗しております。深く感謝を申し上げます。

はじめに、「ゼロカーボンシティ特別区共同宣言」についてです。

私が特別区長会に提案した、特別区全体で2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ特別区」につきましては、10月16日の特別区長会でその実現を目指す旨、共同宣言を行いました。また、実現に向けた大きな取組の一つとして、中小企業の脱炭素化支援に向け、メガバンク3行との協定締結を併せて行ったところです。

こうした取組は、環境省からも大変注目されており、今月30日からアラブ首長国連邦のドバイで開催される国連気候変動枠組条約第28回締約国会議・COP28において、日本の都市部における自治体の気候変動対策の優良事例として紹介したい旨、環境省から特別区長会に提案がありました。特別区長会として協議した結果、この取組を提案した私が代表としてCOP28に出席することとなりました。この機会を活かし、持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組を世界に発信してまいります。

次に、「中期実施計画」についてです。

この度、令和6年度からの4年間を計画期間とする中期実施計画の素案を取りまとめました。この素案では、社会経済状況の変化や各種のプロジェクト、計画事業の進捗状況を踏まえ、「SDGsかつしか未来プロジェクト」の具体化を図るための「葛飾・夢と誇りのプロジェクト」や計画事業の見直しを行いました。

また、中期実施計画の策定に合わせて、区民サービスの更なる向上とそれを支えるための健全な財政基盤の確保に引き続き取り組むため、新たな区民サービス向上改革プログラムを策定します。さらに、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、本区の総合戦略に目指すべき地域ビジョンやデジタルの力の活用などを新たに盛り込みます。

中期実施計画をはじめ、これらの計画素案については、今定例会中に議会にご報告

し、12月中旬からパブリックコメントを実施して区民の皆様のご意見も伺いながら、計画策定に向けて引き続き取り組んでまいります。

次に、「(仮称)葛飾区子ども・若者基本構想」の策定についてです。

本区では、子ども・若者や子育て支援の視点を区政全般に反映した総合的なまちづくりを推進していくための指針となる、「(仮称)葛飾区子ども・若者基本構想」の策定に向け、区議会をはじめ、関係機関にご意見をいただきながら、検討を進めてまいりました。この度、本構想の素案を作成いたしましたので、今定例会でご報告いたします。

今後、区議会のご意見をいただいた後、パブリック・コメントを実施し、区民のご意見をお聴きした上で、本構想案の策定を進めてまいります。

次に、「にこわ新小岩完成記念式典」についてです。

にこわ新小岩が令和4年7月にオープンした後、隣接の旧新小岩学び交流館と上平井保育園の解体工事を経て、園庭と外構の整備工事を行い、この度、外構を含めた施設全体が完成しました。約3,000㎡の外構には、園庭のほか、地域行事などで活用できるイベントスペースや子ども達が遊具を楽しめる遊びスペースを整備し、バリアフリートイレも設置いたしました。また、マンホールトイレやかまどベンチなど、災害時にも対応できる設備も設置しております。11月11日には、完成を記念した式典とにこわ新小岩を利用している団体による発表や展示などのイベントを開催しました。イベントには、多くの方にお越しいただき、大変なにぎわいとなりました。今後も、地域における活動推進やにぎわいの拠点となる施設として運営してまいります。

次に、「令和5年度第四次補正予算案」についてです。

まず、国が掲げる働き方改革を一層推進するため、区独自で区内事業者を支援する事業の経費を計上いたしました。ワーク・ライフ・バランスの取組を実施している区内中小企業へ支援金を支給する経費のほか、令和6年4月から働き方改革関連法が適用され、いわゆる「2024年問題」の影響が懸念される区内運輸事業者の物流効率化を支援するため、従業員が営業活動に必要な免許の取得費用を助成する経費を計上いたしました。

また、電気料金の高騰などを背景に、かつしかエコ助成金の申請件数が大幅に伸び

ていることから、予算額の更なる拡充を図ります。さらに、環境面からも「2024年問題」に対応するため、新たに宅配ボックス設置費用を助成メニューに追加し、物流の効率化と温室効果ガス排出削減を推進する経費を計上いたしました。

その他、柴又公園拡張部をはじめとした用地取得費など、早急に財政措置が必要となる経費を計上いたしました。

以降、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現するための主要事業の進捗状況を申し上げます。

第1に「いつまでもいきいきと幸せに暮らせる、安全・安心なまち」について申し上げます。

はじめに、「防災シンポジウム」についてです。

関東大震災発生から100年という節目を機に、今年は1年間を通して首都直下地震による被害を想定した震災図上訓練や避難所運営訓練、情報伝達訓練等を実施しているところです。10月15日には、区民向けに震災のリスクとその災害対策に関する取組の周知や区民の防災意識の醸成を目的とした防災シンポジウムを開催いたしました。当日は、会場に来られない区民向けに、防災シンポジウムの内容をオンライン配信するなど、より多くの区民が参加できる開催方式で実施し、会場に49名、オンラインで212名の方に参加いただきました。今後も、出前講座等あらゆる機会を捉え、防災意識の醸成による地域防災力の向上を図るとともに、自助・共助・公助が連携した災害対応力を一層強化してまいります。

次に、「地域防災リーダーの育成」についてです。

区では、令和2年度から自治町会の会員を対象とした防災士資格取得助成制度を創設し、これまでに107名の防災士が誕生しています。

今年度も新たに防災士資格取得を目指す方々に向け、来年1月13日土曜日、14日日曜日の2日間にわたる研修を実施し、資格取得を支援いたします。

また、既に防災士資格を取得された区民に対しては、地域の防災活動でご活躍いただくため、10月29日の日曜日と11月1日の平日夜間に、「地域の防災力を高めるため

に」をテーマとしたフォローアップ研修を実施したところです。

今後、地域防災の連携・強化を進めるため、地域防災リーダーの育成を図ってまいります。

次に、「特別養護老人ホーム等の大規模改修工事に係る代替施設の整備」についてです。

代替施設の整備につきましては、第3回定例会において基本計画の素案について所管委員会にご報告した後、10月20日には近隣住民への第2回目の説明会を実施いたしました。いただいたご意見を踏まえ、基本計画案を取りまとめ、本定例会にご報告いたします。また、特別養護老人ホーム等の大規模修繕を速やかに進めるため、代替施設の基本設計・実施設計に着手することとし、必要な経費を第四次補正予算案に計上したところです。

次に、「国民健康保険の産前産後期間の保険料免除措置」についてです。

国は、国民健康保険に加入する子育て世代の負担を軽減し、次世代の育成支援を行うことを目的として、被保険者が出産する際の、産前産後4ヶ月間、多胎児の場合は6ヶ月間の保険料を免除する制度を、令和6年1月から開始します。

これを受けて、本区も国民健康保険加入者に対する産前産後期間の保険料を免除するための必要な条例改正案を本定例会に提出いたしました。

第2に「子どもが元気に育ち、誰もが生涯にわたって成長し活躍できるまち」について申し上げます。

はじめに、「子ども未来プラザの整備」についてです。

既にオープンしている子ども未来プラザ鎌倉や子ども未来プラザ西新小岩に多くの方が来所しており、地域の子育て支援拠点施設としてご利用いただいております。子ども未来プラザとして区内3箇所目となる子ども未来プラザ東四つ木は令和5年9月末に建設工事を完了し、現在、開設に向けた準備を進めており、令和6年1月9日に開設いたします。

また、(仮称)子ども未来プラザ白鳥については基本設計が完了したため、令和8年

度後半の開設に向けて実施設計に着手いたします。

今後も、妊娠期から子どもが成長するまで切れ目なく支援していく子育て支援の拠点施設として、子ども未来プラザの整備を進めてまいります。

次に、「送迎保育ステーションのモデル事業実施」についてです。

本区では、令和3年4月に待機児童ゼロを達成いたしました。一方で、保育需要の地域偏在や希望する保育園に入園できないなどのこれまでの課題の解決に加え、より利用しやすい保育環境を構築することが求められています。そのため、保育園の送迎時に駅前で子どもを預かり、複数の保育園へのバス送迎を行う「送迎保育ステーション」のモデル事業について、令和6年度後半の開始を目指して事業内容の検討や事業者との協議を進めてまいります。

次に、「教育・保育施設等の安全対策」についてです。

子どもをより安心して預けられるようにするため、施設外及び施設内活動時の置き去り、見失い、飛び出し等や、睡眠中の事故防止対策に必要な機器の購入等を補助することで、私立保育施設等における子どもの安全をより一層確保してまいります。

次に、「学校施設としての屋内温水プールの整備」についてです。

近年の猛暑による熱中症予防対策に加え、雨天時や低気温時も含め、学校における計画的な水泳指導の実施が難しくなっていることから、教育委員会では、区総合スポーツセンターや民間事業者の屋内温水プールを活用するとともに、複数のインストラクターを指導補助に加え、計画的かつ充実した水泳指導の実施を進めています。

今回、屋内温水プールを活用した水泳指導の実施校の拡大に向けて、お花茶屋一丁目に新たに屋内温水プールを整備するための土地の購入等に係る経費を第四次補正予算案に計上しております。

また、屋内温水プールとともに、学校の体育の授業や部活動等、多目的に利用できるホールを整備し、教育環境の充実を図ってまいります。さらに、整備した温水プールやホールは、地域の方々にも広くご利用いただける施設としてまいります。

次に、「学校適正規模の取組」と「次期改築候補校の選定」についてです。

東四つ木地域においては、地域代表者で組織する東四つ木地域学校づくり検討懇談会を設置し、学校適正規模の取組について議論を進めてきました。この度、木根川小学校と渋江小学校を学校統合し、中川中学校との施設一体型校舎を整備する方向性について、意見がまとまりました。

この東四つ木地域をはじめ、現在、地域の皆様と検討中の柴又地域、また、再開発事業等により児童数の増加が見込まれる学校を、次期改築候補校として選定いたしました。

詳細につきましては所管委員会にご報告いたしますが、今後も、保護者や地域住民の皆様と十分な話し合いを行いながら、着実に学校改築を進め、教育環境の充実を図っていきたいと考えております。

次に、「かつしかスポーツフェスティバル 2023」についてです。

10月9日スポーツの日に、奥戸総合スポーツセンターをメイン会場としてかつしかスポーツフェスティバルを開催いたしました。

当日は、雨のため運動会プログラムを屋内の大体育室で実施するなど、内容を一部変更しましたが、延べ13,287人が参加し、スポーツを楽しんでいただきました。体育協会やスポーツ推進委員協議会をはじめとするスポーツ団体や協賛企業など、様々な団体の方との協働により、スポーツ体験など46プログラムの実施、フードコート27店舗の出店など盛大に開催することができました。特に、今回は本区と連携協力協定を締結している日本相撲協会の九重部屋、二子山部屋、大島部屋がちゃんこ鍋をふるまうとともに、来場者と力士との交流の場を設けて、イベントを盛り上げていただきました。今後も、様々な団体との協働によりスポーツの街かつしかをPRしながら、スポーツ振興を進めてまいります。

第3に「人や自然にやさしく、誰もが快適に暮らせる美しいまち」について申し上げます。

はじめに、「(仮称)葛飾区再生可能エネルギー導入戦略」の策定についてです。

本区は、令和4年3月に葛飾区地球温暖化対策実行計画を包含した第3次葛飾区環境基本計画を策定し、2050年の「ゼロエミッションかつしか」の実現に向け、温室効

果ガス排出量の削減に取り組んでおります。

「ゼロエミッションかつしか」の実現には、省エネルギー対策を着実に進めるとともに、再生可能エネルギーを最大限に活用することがとりわけ重要であります。

そのため、再生可能エネルギーの導入を一層推進するため、本区域内における再生可能エネルギーの導入目標やその目標の実現に向けた具体的な取組を示した「(仮称)葛飾区再生可能エネルギー導入戦略」の策定作業を葛飾区環境審議会のご意見を踏まえながら進めてまいりました。

この度、素案をとりまとめましたので、区議会でのご意見をいただいた後、パブリック・コメントを実施し、策定へと進めてまいります。

次に、「緑の都市賞」についてです。

この度、本区が進めている「花いっぱいのもちづくり」が「第43回緑の都市賞」に入選しました。緑の都市賞とは、公益財団法人都市緑化機構が主催し、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し緑の保全・創出活動に成果を上げている団体等を顕彰するものです。

この受賞を機に区民の方々と「かつしか花いっぱいのもちづくり」をより一層推し進めるとともに、令和8年度に開催予定の「(仮称)全国みどりと花のフェアかつしか」に向けて機運醸成を図ってまいります。

次に、「都市計画マスタープラン」の策定状況についてです。

計画の素案については、本年の6月から7月にかけて、オープンハウス型の説明会とパブリック・コメントを実施いたしました。

説明会には、多くの方々にご来場いただき、そのうち284名の方には来場者アンケートにご協力いただきました。また、パブリック・コメントにより区民の皆様からいただいたご意見や議会などからのご意見を踏まえ、10月10日に葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会において最終検討が行われ、その検討報告を踏まえ、葛飾区都市計画マスタープラン案を取りまとめたところです。

計画案では、基本理念として、『みんなでつくる、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる「かつしか」』を掲げ、これまで進めてきた取組を更に推し進めるとともに、区民の関心が高い防災を共通の視点に、市街地整備や交通などの6つの分野別方

針の施策を重層的、一体的に連携させ、平常時にも災害時にも対応したまちづくりを推進することとしています。

また、計画の実現に向けては、区民、事業者、行政等がそれぞれの主体的な役割を認識し、お互いの立場を理解しつつ相互協力に努め、まちづくりの目標を共有したパートナーシップ型のまちづくりを推進していくこととしています。

この都市計画マスタープラン案については、本定例会中の所管委員会にご報告し、引き続き、計画の実現に向けて、協働のまちづくりに取り組んでまいります。

次に、「葛飾区マンション管理適正化推進計画」の策定についてです。

マンションの維持管理の適正化を強化するため、令和2年に「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」が改正されました。そこで区内分譲マンションの実態を把握するため、令和4年度に実態調査を実施し、令和5年度はその結果を踏まえて「葛飾区マンション管理適正化推進計画」の策定に取り組んでまいりました。

第3回定例会の所管委員会において素案をご報告し、その後、学識経験者や区民団体の代表を含む策定検討委員会でご意見をいただき、「葛飾区マンション管理適正化推進計画」案を作成しました。

また、令和6年1月からは本計画に基づき、マンションの管理組合が管理規約や長期修繕計画の作成などの項目について、区が定める一定の基準を満たす適正な管理計画を有するマンションとして、区の認定を受けることができる管理計画認定制度を開始する予定です。

引き続き、マンションの適正な維持管理を促進し、良好な住環境の推進に努めてまいります。

第4に「葛飾らしい文化や産業が輝く、笑顔とにぎわいあふれるまち」について申し上げます。

はじめに、「商工振興」についてです。

区民の皆様にご好評いただいております、葛飾区商店街連合会が発行する「プレミアム付商品券」を、今年度は、第2弾として、10万セット、12億円の追加発行分も支援し、11月から1月末までご利用いただけることになっております。また、デジタル

版のプレミアム付商品券「かつしかP A Y」が、一部の大型店でも利用できることになったこともあり、発行予定数を大幅に上回るご応募をいただきました。より多くの方々にご利用いただき、区内商店街のデジタル化の推進と区内商業の活性化を図ってまいります。

さらに 12 月には、昨年度葛飾区内での総決済額が 22 億円以上となりました「キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」を実施します。期間中に対象店で対象アプリを利用して支払った方に対し、利用金額に応じて最大 20%のポイントを還元します。今後も、キャッシュレス決済の更なる導入促進と地域経済の活性化を図ってまいります。

次に、日本と ASEAN の観光大臣特別対話における葛飾柴又への来訪についてです。

観光庁は、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を記念して、日本と ASEAN の観光大臣特別対話を東京で開催し、持続可能な観光のあり方などについて議論を行いました。10 月 29 日は、持続可能な観光地のモデルとして柴又が視察先に選ばれ、各国の代表らが帝釈天や参道の視察などをお楽しみいただき、私もお案内しながら大臣達と意見交換をいたしました。今後もこのような機会をとらえながら海外における葛飾観光の認知度向上を図り、インバウンドの誘致につなげてまいります。

次に、「寅さんサミット 2023」についてです。

映画「男はつらいよ」のロケ地との協働による「寅さんサミット 2023」が 11 月 3 日・4 日の 2 日間開催されました。葛飾柴又と各地の文化・芸能・特産品の魅力をお楽しみいただくとともに、本区の伝統産業にも触れていただく機会となり、85,000 人の方にご来場いただきました。来年は、記念すべき 10 回目の寅さんサミットとなります。葛飾柴又と参加地域の協働の絆を大切に、寅さんサミットの発展と葛飾柴又の魅力発信につなげてまいります。

次に、「フードフェスタ」についてです。

11 月 25 日、26 日の 2 日間、新小岩公園で「かつしかフードフェスタ 2023」を開催しました。区内外から大変多くの皆様にご来場いただき、本区のおいしいグルメを楽しんでいただきました。また、本イベントをきっかけに、イベント後も実店舗に足を運

んでいただくため、お得なサービスを提供するパンフレットを作成し配布いたしました。今後も、本イベントを通じて区内外の多くの方に対して、本区の食の魅力を発信してまいります。

次に、「イルミネーション事業」についてです。

12月1日から地元自治町会や商店会などと協働し、亀有、金町、新小岩駅周辺において、華やかに彩るイルミネーションを一斉に点灯いたします。点灯期間中に亀有では「おいでよ亀有 WinterFestival（ウインターフェスティバル）」、金町では「ふるさとクリスマスマーケット」、新小岩では「マルシェイベント」を開催し、冬のにぎわいを創出いたします。

次に、「モンチッチデジタルスタンプラリー」についてです。

令和5年9月から11月末まで、南葛SCと協働で実施している「キャプテン翼デジタルスタンプラリー」に引き続き、今回も南葛SCとの協働により1月から3月まで「モンチッチデジタルスタンプラリー」を実施いたします。令和6年のモンチッチ生誕50周年を記念し、モンチッチゆかりの地である新小岩地区のスポットを巡るコースです。JR新小岩南口ビルや南北自由通路も完成し、多くの方が訪れ活気づく新小岩において、たくさんの方に楽しんでいただけるイベントとしてまいります。

以上、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けた主要事業の進捗状況を申し上げます。

その他、今定例会にご提案を申し上げます案件につきましては、上程の折に主管者から詳細にわたりご説明いたしますので、よろしくご決定をいただきますようお願い申し上げます。令和5年第4回区議会定例会の開催に当たっての私の挨拶といたします。